

医療薬学Ⅱ

責任者：那谷 耕司 教授

担当講座（科）：臨床医化学講座

講義 18時間

単位 1単位

学年

4学年 前期

学習方針

基本理念：

医療薬学Ⅱでは、これまでに習得した正常な人体の各器官系の形態・構造と機能、代表的な症候に関する知識に加え、生化学、細胞生物学等の講義により習得した知識を基に、血液・造血器、腎臓・尿路、生殖器、皮膚、神経・筋、精神、骨・関節等の広範囲にわたる疾患について病理、病態に重点をおいて講述する。また、これらの疾患の薬物治療、非薬物治療について概説し、個々の疾患の治療における薬物治療の位置づけについての理解を深める。

一般目標（GIO）：

血液・造血器系、腎・泌尿器系、皮膚、神経・筋、精神、生殖器、骨・関節の疾患について、正常の形態・構造と機能、臨床検査法、病理、病態、薬物治療、非薬物治療についての基礎的な知識を習得する。

到達目標（SBOs）：

1. 血液・造血器における代表的な疾患の病態生理、検査法、適切な治療法について概説できる。
2. 貧血の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。
3. 白血病の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。
4. 播種性血管内凝固症候群（DIC）の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。
5. 腎・尿路における代表的な疾患の病態生理、検査法、適切な治療法について概説できる。
6. 皮膚に関する代表的な疾患の病態生理、検査法、適切な治療法について概説できる。
7. アトピー性皮膚炎の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。
8. 皮膚真菌症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。
9. 神経・筋に関する代表的な疾患の病態生理、検査法、適切な治療法について概説できる。
10. 脳血管疾患の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。
11. 代表的な精神疾患の病態生理、検査法、適切な治療法について概説できる。
12. 男性および女性生殖器に関する代表的な疾患の病態生理、検査法、適切な治療法について概説できる。
13. 前立腺肥大症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。

14. 骨・関節に関する代表的な疾患の病態生理、検査法、適切な治療法について概説できる。
15. 骨粗鬆症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。
16. 関節リュウマチの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。

講義日程

月日	曜	時限	講座(科)名	担当者	内 容
4/13	火	1	臨床医化学講座	那谷 耕司 教授	血液・造血器系疾患(1) 正常の構造と機能、臨床検査法
4/20	〃	〃	〃	〃	血液・造血器系疾患(2) 貧血の病態と治療
4/27	〃	〃	〃	〃	血液・造血器系疾患(3) 白血病の病態と治療
5/11	〃	〃	〃	〃	血液・造血器系疾患(4) 出血傾向に関連した疾患の病態と治療
5/19	水	3	〃	〃	腎・泌尿器系疾患 泌尿器系疾患の病態と治療
5/25	火	1	〃	〃	皮膚疾患の病態と治療
6/ 1	〃	〃	〃	〃	神経・筋疾患の病態と治療
6/ 8	〃	〃	〃	〃	精神疾患の病態と治療
6/15	〃	〃	〃	〃	生殖器疾患(1) 男性生殖器疾患の病態と治療
6/22	〃	〃	〃	〃	生殖器疾患(2) 女性生殖器疾患の病態と治療
6/29	〃	〃	〃	〃	骨・関節疾患の病態と治療(1) 骨粗鬆症の病態と治療
7/ 6	〃	〃	〃	〃	骨・関節疾患の病態と治療(2) 関節リュウマチの病態と治療

教科書(教)・参考図書(参)・推奨図書(推)

	書 名	著者名	発行所	発行年
教	コアテキスト3 疾病の成り立ちと回復の促進[2] 疾患各論(1) (医療薬学I教科書)	下 正宗 他 編	医学書院 (定価 3,200 円)	2006
教	コアテキスト4 疾病の成り立ちと回復の促進[3] 疾患各論(2) (医療薬学I教科書)	下 正宗 他 編	医学書院 (定価 3,300 円)	2006
教	病気がみえる vol.5 血液	医療情報科学研 究所 編	メディックメディア (定価 3,000 円)	2008

	書名	著者名	発行所	発行年
参	病気がみえる vol.9 婦人科・乳腺外科	医療情報科学研 究所 編	メディックメディア (定価 3,000 円)	2009
参	脳神経疾患 ビジュアルブック	森田 昭夫 他 編	学研 (定価 3,000 円)	2009

成績評価方法

期末試験、小テスト、レポート、出席などから総合的に評価する。

オフィスアワー一覧

授業を担当する専任教員氏名	方式	曜	時間帯	備考
臨床医化学講座 那谷 耕司	B - i			事前に連絡があると確実です。